

# カキ生育情報

千葉県  
平成27年12月号

## 一年間の気象

平成26年12月から平成27年11月までの月別気象を表1に示した。月平均気温は、平成27年1～5月、7月、11月では平年以上となり、この1年間の平均気温は15.6℃で平年並み、前年より0.1℃高かった。降水量は平成26年12月、平成27年1月、3月、7月、8月、9月、11月で平年を上回り、この1年間の合計は2,261mmで平年の114%、前年の129%であった。日照時間は平成26年12月、平成27年2月、3月、7月、10月で平年を上回り、この1年間の合計は1,978時間で平年の101%、前年の94%であった。

表1 平成26年12月～平成27年11月の気象（暖地園芸研究所）

年 月	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
H26 12	7.6	8.5	7.8	131	94	75	195	166	180
H27 1	6.0	6.0	6.5	120	87	90	130	169	158
2	6.4	6.3	5.9	89	103	142	167	151	120
3	10.3	9.2	9.7	195	182	167	199	154	179
4	13.8	13.8	13.3	167	169	166	130	166	191
5	18.9	17.7	18.1	74	178	162	179	186	248
6	20.4	20.8	21.2	229	251	334	134	135	154
7	24.5	24.4	24.4	297	173	55	208	175	203
8	25.7	25.9	25.5	180	133	62	197	220	213
9	22.0	22.9	21.7	449	220	122	129	146	180
10	17.9	18.0	18.1	93	258	305	185	137	141
11	14.2	13.3	13.8	237	144	67	125	144	130
平均/合計	15.6	15.6	15.5	2261	1992	1747	1978	1949	2097

## 本年産果実の特徴

本年産のカキの生育状況を振り返ると、3月の気温が高く、発芽期は平年より大幅に早まり、4月中旬以降の気温も平年以上であったため、開花期も平年より早まった。梅雨明けは7月19日で平年より2日早かったが、初夏から初秋にかけては降水量が多かった。しかし表年で着果量が平年よりやや多く、収穫果実は「西村早生」では平年より大きく、他の2品種は平年よりやや小さかった。生理落果は平年並みで、炭疽病の発生は多く、果樹カメムシ類の発生は少なかった。

## 収穫期

暖地園芸研究所(以下暖地園研)における収穫期を表2に示した。収穫始期、盛期及び終期はそれぞれ、「西村早生」が9月24日、28日、10月2日、「松本早生富有」が10月5日、19日、11月4日、「富有」が10月9日、13日、11月4日であった。「西村早生」の始期は平年より7日遅れたが、「松本早生富有」と「富有」の始期は、それぞれ7日と16日早かった。盛期は3品種ともに1～27日早かった。終期は何れの品種も3～15日早かった。

市原市の「松本早生富有」の収穫始期、盛期及び終期は、それぞれ10月8日、11日、27日で、前年より始期が2日、盛期が20日、終期が16日早かった。

## 果実の品質

収穫果実の大きさ、糖度、へたすき及び汚損果程度は表3に示した。1果平均重は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ220g、216g、「富有」が210gであった。「西村早生」は平年より大きく、他の2品種は平年より小さかった。

糖度は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ14.5、16.9、「富有」が15.4であった。いずれの品種も平年よりそれぞれ0.3、2.0、0.1高かった。へたすきと汚損果の発生程度はいずれの品種も前年と同程度であった。

表2 収穫期（暖地園芸研究所）

品 種	収穫始期(月.日)			収穫盛期			収穫終期		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	9.24	9.17	9.16	9.28	9.29	9.22	10.2	10.8	9.30
松本早生富有	10.5	10.12	10.7	10.19	10.24	10.18	11.4	11.7	11.4
富有	10.9	10.25	10.14	10.13	11.9	10.24	11.4	11.19	11.10

平年：1997～2014年の平均

表3 果実の大きさと品質

品 種	調査地	1果平均重(g)			糖度計示度(Brix)			へたすき		汚損果程度	
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	前年	本年	前年
西村早生	いすみ市	205	198	191	13.4	14.5	15.3	—	—	—	—
	暖地園研	234	197	152	15.6	14.8	15.4	無	無	少	少
	平均	220	177	172	14.5	14.2	15.4	—	—	—	—
松本早生富有	市原市	177	225	181	18.4	15.7	16.9	—	—	—	—
	暖地園研	255	246	239	15.4	14.9	16.1	少	少	少	少
	平均	216	223	210	16.9	14.9	16.5	—	—	—	—
富有	暖地園研	210	255	216	15.4	15.3	17.1	微	微	少	少

平年：暖地園研は1990～2014年の平均、いすみ市及び市原市は1998～2014年の平均

## 12～5月の作業

### 整枝・せん定

厳寒期を過ぎたら開始する。結果母枝の充実度を確認した上で、結果過多にならないように留意し、間引きせん定を中心に行い、切返しせん定による枝の更新も行う。不必要な徒長枝と軟弱枝は取り除き、枝が密集すると病害虫が発生しやすくなるので風通しがよくなるように適宜間引く。

### 摘 蕾

開花10日前～開花直前(5月上中旬頃)に行う。摘蕾は樹体の消耗を抑え、大果及び高品質果生産と隔年結果防止のために行うので、せん定の一部と考える。着蕾量が少ない場合は、小花、奇形花は落とすが、着蕾量を確認しながら過度に行わないようにする。着蕾量が多い場合は、開花7～10日前に充実した花蕾を1結果枝に1蕾残すように摘蕾する。

### 病害虫防除

落葉の処分と粗皮削りは、病害虫の越冬源を絶つための効果が極めて高い。うどんこ病、落葉病、黒星病の予防は、発芽前の3月中下旬が防除適期である。また、カイガラムシ類の多い園では、休眠期の12～2月までが防除適期となる。展葉期の4月下旬は、うどんこ病、ハマキムシ類、フジコナカイガラムシ、チャノキイロアザミウマの防除適期である。防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>